

マシニングセンタに内蔵できるワーク自動搬送装置を開発

エンシュウ株式会社（本社：静岡県浜松市南区 社長：山下 晴央 以下、エンシュウ）は、マシニングセンタ（MC）に内蔵出来る加工対象物（ワーク）自動搬送装置を新たに開発いたしました。

自動車部品等の量産加工において、省人化のためMC（工程）間のワーク自動搬送化が進んでいます。従来、MC前面や側面にロボットを配置してMC内へワークの搬出入をし、別装置で工程間の搬送を行う方法や、機械上方にガントリーローダーと呼ばれる門型形状をしたワークの搬出入と工程間搬送を同時に行う装置による方法など、自動搬送装置をMC外部に近接して個別に独立配置して対応することが一般的でありました。

今回エンシュウは工作機械メーカーの中でも専用機設計やシステムインテグレートに長ける強みを生かし、省スペース化と低コスト化に貢献可能なMCに内蔵出来る自動搬送装置を開発しました。

この搬送装置は以下のような特徴を持っております。

- ・手作業仕様時と同等のMC設置スペースにて、今回の自動搬送装置を組み込むことができます。
またガントリーローダーのように工場天井高さの確保が不要で、MC本体より背が高くなりません。
- ・MCと搬送装置を個別に設置する必要がないため設置後の位置微調整が容易となり、設置作業が簡素化できます。
- ・MCに内蔵されているだけでなく、MCの制御装置で駆動させるため、搬送装置のコントロールもMCの操作盤から行うことが出来、加工との連携や立上げが容易です。またロボットのように操作のための特別な技能は必要ありません。
- ・ワークを搬送するための駆動源の一部にMCの移動軸を用いることで部品点数が削減され、低コスト化が図れました。
- ・この搬送装置の可搬重量は搬出／搬入側各々10Kgで、標準的搬出入時間は7秒以下に設定できます。

MCに内蔵出来るワーク自動搬送装置は、第1弾として弊社立形MC「WE30V」に内蔵し、9月16日～21日までドイツ ハノーバーにて開催されるEMO HANNOVER 2019及び 10月23日～26日まで名古屋にて開催されるMECT 2019に出展予定です。

本件に関するお問い合わせは、営業部 営業課までお願いします。

[Tel:053-588-2671](tel:053-588-2671)

Fax:053-588-2469